

I 事業の概要

通常評価

I-1 事業の概要

事務事業名	小型家電リサイクルモデル事業	所管局部課等	環境政策局循環型社会推進部循環企画課
ホームページアドレス	http://www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/soshiki/5-5-0-0-0_44.html	(連絡先)	213-4930
		(評価票作成者)	循環企画課長 牧村 雅史

22決算額 (千円)	23予算額 (千円)	今後の方向性	24予算額 (千円)	目標達成度評価
2,251	4,800	現状のまま継続	6,500	指標：回収量
業務運営方法	☐ 直営 ☒ 部分委託 ☐ 部分補助等 ☐ 全部委託 ☐ 全部補助等	委託(補助)先の名称、委託(補助)の内容 (名称) 1. 木下カンセー, 2. 伊藤重三商店, 3. リサイクルテック中部 (内容) 1. 収集運搬(回収拠点から一時保管施設まで), 2. 収集運搬(一時保管施設から中間処理施設まで), 3. 中間処理		かなり悪い 悪い 普通 良い かなり 0%10%20%30%40%50%60%70%80%90%100%110%120% 20 21 H22年度
実施根拠 (法令, 条例, 規則, 要綱等)	京都市循環型社会推進基本計画(2009-2020)			事務事業の性格 ☐ 義務的事業 ☒ 任意的事業
開始時期	平成 22 年度	終了(予定)時期	平成 年度	類型 11 その他
				会計区分 ☒ 一般会計 ☐ 特別会計

事業概要	対 象	(誰を, 何を) 家庭で発生した使用済小型家電の携帯電話, デジタルカメラ, 電気コード類等 (平成23年6月から, 従来の15品目に更に19品目を追加し, 対象は計34品目)
	活 動 容	(どのような手段で) ①回収: ボックス回収(公共施設等に専用の回収ボックスを設置), イベント回収(定期的なイベント会場に専用の回収ボックスを設置)②中間処理等: 回収した小型家電を一時保管後, 中間処理し, レアメタル(希少金属)等の有用金属をリサイクルする③周知啓発: レアメタルをはじめとする資源循環, ごみの減量, 分別促進等の周知啓発活動を行う。※平成23年度については, 6月から12月まで国のモデル事業費で実施し(12月末でモデル事業が終了する), 1月以降は市独自で実施する。
	目 的	(どのような状態にしたいのか) レアメタルを含む使用済小型家電の回収リサイクルモデルを構築することにより, ごみ減量及び適正処理に寄与するとともに, 国家戦略に位置付けられているレアメタルの安定的な確保に貢献する。

I-2 投入量

年間経費等推移 (千円)	No.	区分	H20年度決算	H21年度決算	H22年度決算	H23年度予算	H24年度予算
	①	事業費 (千円)			2,251	4,800	6,500
		旅費(研究会, 打合せ, 視察等)			345	450	180
		需用費(啓発チラシ製作費)			612	950	770
		使用料及び賃借料(イベント会場使用料)			483	500	
	①'	委託料 収集運搬費, リサイクル費			811	2,900	5,550
	②	委託料が事業費に占める割合(①'÷①) (%)			36.0%	60.4%	85.4%
	③	人件費(24年度は見込) (千円)			8,404	6,861	7,776
		職員(課長級) (人)			0.06	0.04	0.12
		職員(課長補佐級, 係長級) (人)			0.21	0.29	0.29
		職員(係員) (人)			0.68	0.42	0.42
		嘱託職員等人件費 (千円)					
	④	年間経費(①+③) (千円)			10,655	11,661	14,276
	⑤	特定財源(市税等の一般財源以外) (千円)			2,251	4,800	6,500
		国庫・府支出金 (千円)					
		受益者負担分(使用料, 手数料等) (千円)					
		その他(基金繰入金) (千円)			2,251	4,800	6,500
	⑥	京都市年間負担経費(④-⑤) (千円)			8,404	6,861	7,776
	⑦	受益者負担率(受益者負担分÷④) (%)			0.0%	0.0%	0.0%

Ⅱ 評価結果

事業名 小型家電リサイクルモデル事業

Ⅱ-2 業績評価（Ⅱ-1 市民と行政の役割分担評価は「通常評価」のため省略）

A 目標達成度	指標名	区分	単位	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
指標1	回収量	目標値 …①	キロ			660	3,200	6,500
		実績値 …②	キロ			1,051		
		目標達成度 (②÷①)	%			159.2%		
	指標の種類	増加することが良いとされる指標		評価			かなり良い	
指標2		目標値 …①						
		実績値 …②						
		目標達成度 (②÷①)	%					
	指標の種類			評価				
			総合評価					
指標の選択理由				目標値設定の考え方				
指標1	本事業の目的である小型家電のリサイクル推進状況を把握するのに最も適していると考えられるため			平成22年度目標値は平成22年度4～7月期の事業実績（55kg/月）から算出した。また、平成23年度4～6月期の事業実績から算出した。				
指標変更の有無	☐ 有 ☒ 無	指標名			適用年度			単位
指標2								
指標変更の有無	☐ 有 ☒ 無	指標名			適用年度			単位
分析	<実績値の変動理由等> 平成22年度は、目標を満たす実績を得ることができた。							
B 効率性	No.	区分	単位	H20年度	H21年度	H22年度		
	①	回収量	キロ			660		
	②	年間経費（事業費及び人件費の合計額）	千円			10,655		
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位			16,144		
	④	単位当たり経費変動率						
					評価			
分析	<コスト変動の理由等> 平成22年度から予算措置されることとなった事業であり、コストの比較をすることはできない。							
C 市民参加度	企画段階	☐ 高 ☐ 中 ☐ 低 ☒ 無	<現状分析、今後の方針等> 家庭で保管したり、家庭ごみへ排出されるなど、資源としてリサイクルされていないため、周知啓発を実施していく					
	実施段階	☒ 高 ☐ 中 ☐ 低 ☐ 無						
	評価段階	☐ 高 ☐ 中 ☐ 低 ☒ 無						
D 市民満足度	<調査の有無>		<調査結果、現状分析等>					
	☐ 有 ☒ 無 ☐ 該当しない							
	<調査方法>	<調査時期>						
E 環境保全及び環境負荷軽減の要素	☒ 環境 ☐ 関連 ☐ 一般		<現状分析、今後の方針等> ごみの減量、資源の有効活用、環境負荷の低減等に効果					

平成23年度の実施状況 スーパーマーケット、区役所・支所、まち美化事務所、地下鉄駅構内等の市民に身近な場所で拠点回収を実施するとともに、定期的なイベントでの回収を行っており、平成23年6月からは、従来の15品目に新たに19品目を加えた34品目まで回収品目を拡大し、事業の充実を図った。

市会・監査・外部機関等からの指摘

Ⅲ 今後の方向性

（今後の方向性の理由及び具体的な内容）

現状のまま継続

引き続き、スーパーマーケット、区役所・支所、まち美化事務所、地下鉄駅構内等での拠点回収、定期的なイベントでの回収を行うとともに、回収率を高めるための普及啓発を実施していく。
なお、平成24年度から事務事業名を「小型家電リサイクル事業」とする。